



さっぽろ

郵便振替027103-570 あごられ窓

NO 198

あごられ窓連絡先

今月連絡担当

細田(011-644-2929)

細田英理子

今月の内容

中島里美さんを囲んで	沖縄の女性と熱く深く 連帯しよう
... 1.2	... 4.5
熟年の性を語る上参加	プライバシー何? ... 6.7
いて	... 3 情報 ... 8

1995.12.1 発行

通信費請求料 1,940 円(年間)

12・1月合併号(次回は3/1発行予定)

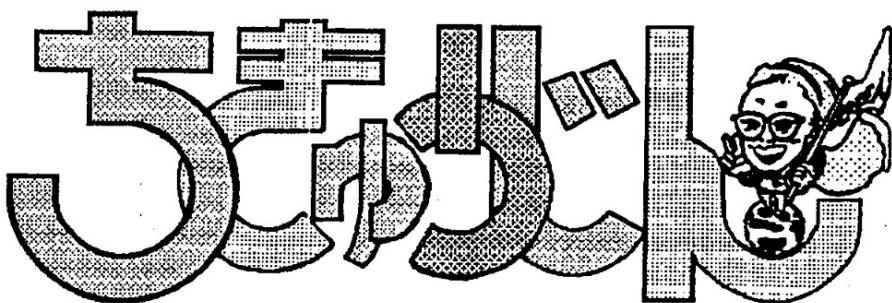
前・所沢市議、男女平等活動家

中嶋 里美 さんを囲んで

数年前からラブコールを送っていた中嶋里美さんの講演会がやっと実現した。

札幌市母と女性教職員の会主催の講演会が10月21日あり、翌日「里美さんを囲む会」をもった。22日、急遽入った“沖縄行動リレートーク”で一言アピールしてもらった。1955年、アメリカ、アラバマ州で、ある1人の中年女性（アフリカ系）が白人にバス席を譲らなかったということがきっかけで公民権運動がまき起こった。当時、席を譲らない、ということはとても勇気のある行動だったと思う。そして、40年たった今年、沖縄で少女が米兵にレイプされた。少女はこれまでのよう泣き寝入りせず、勇気をもって訴えた。

「今後二度とこんな悲しい事件がおこらないように」と、この勇気ある少女の訴えをきっかけに10.21沖縄で8万5千人の集会がもたれ、それに連動し日本各地で「安保はいらないと沖縄集会がもたれたのだ。アピール後、大急ぎで「囲む会」の会場へ。



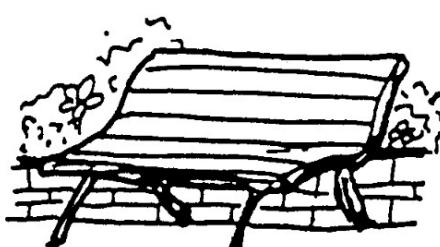
ここでは、第4回北京女性会議のビデオを見ながら、話し合った。衝撃的だったのが、アフリカの少女割礼のはなし。今だに、毎年200万人以上の幼女、少女に行われ、既に総計8000万人から1億人の女性に行われたといわれる。それがその国の文化であり、他の国のアドバイス等は「大きなお世話」であり「我々の文化、伝統に対するいいががりだ」と言わされてきた。しかし割礼、そのものがあまりにも残酷でありすぎる。以前から「割礼」に関しては知っているつもりであり、それはクリトリスを切り取る、というものであった。しかし、今回知った「割礼」とはそんな生易しいものではない。非常に危険度が高く、クリトリスと外側のいん唇をくりぬき、尿と月経が通るところを残して縫合せる、というもの。初夜に夫が切り開き、生傷になったところが閉じないように、40日間毎日セックスする。これでは、セックスそのものが拷問である。1日に同じナイフで20人から30人の割礼をするということで、そのことで病気になったり命を落としたりしている。これは、女性に対する暴力、性的虐待に他ならない。画面に出てきた男は「割礼をしなければ女は強くなり生意気になる」と言っていた。割礼が行われている国々の女性も教育を受け、いろいろな情報も得るようになった。北京会議に出席した、ある勇気ある母親は「わたしの子どもには割礼をうけさせなかつた」と言っていた。しかし、それは村八分、仲間外れを意味する。勇気ある母親が1人、2人、10人、20人、100人、1000人と増えていくことで少女たちは救われる。そのためにも、割礼は文化なんかではなく、暴力・虐待なんだということを広く知らせていかなければならぬと思った。そして、それを伝えることができるるのは教育の力ではないだろうか。

前日、主催者のつけた「子どもが見えますか」というタイトルで中嶋さんの講演があった。中嶋さんは、「みなさん、自分がみえていますか？自分が見えていたら、子どもは見えます。子どもの失敗を見て、自分の子どものときの失敗を思いだし、そのことを語ることによって、子どもの目の高さで話し合えるではないか」と、話していた。男女差別の多い民間の事務員を辞め高校の教師となった中嶋さんは、いつも自分との対話を続け本当にしたいことをしぶってきました、と言う。英語の教材に男女平等を意識したテキストを用い、英語を教えながら男女平等を子どもたちに教えた。当時の教え子の中に、函館で高校の教師になった男性がいる。彼は、孤立無援のなかで、男女混合名簿を取り入れ活躍している。講演会当日、彼は夜行で札幌入りし、夜行で帰っていった。こんなとき教師冥利につくるのだろうなーとうらやましく思った。

「すべての政策決定の場に半分の女性を」と運動し、仲間を議会に送りだし、何年か後、自らも市議になった。

機会あるごとに「議員になって！」

「執行委員の人は次には執行委員長になって！」と周りの女たちを叱咤激励しまくっている。元気をいっぱいもらい、さて、あなたは？わたしは？



高橋芳恵 記

「熟年の性を考える」に参加して

細田英理子

参加者は熟年男性5～6人と女性（40代が多い？）8～9名。最初は講師の丸山俊蔵さんから「そもそもセックスについて勘違いしている男の人は多い。女人には挿入さえすれば満足すると思っている人が多いが、女人の感じる所はクリトリスを中心とした外陰部である。セックスの固定観念を捨てて、子どもをつくりたい時以外は挿入にこだわらないいろいろな触れあいを楽しむ」とい。

特に高齢になって勃起不全がおきやすい時こそ、挿入にこだわらない触れあいが大事である。またベッドの中での性的触れあいはベッドの外でのふれあいとひびきあうもの。ベッドの中だけ楽しいということはありえない。ベッドの外でどれだけ一緒に生きようとしているのか、どれだけコミュニケーションがとれているのかと深くかかわる」と話があつた。



その後の話し合いでは「自分の知り合いで、定年になつたら妻に突然離婚をつきつけられた人が何人もいる」と熟年離婚の話題になつた。家のことは全て妻に任せて家庭をかえりみず、仕事だけの生活を続けた結果らしい。もちろんコミュニケーション不足だったのだろうが、性別役割分担が二人の距離、意識を遠ざけた要因になったことは確かなようだ。一方で「明治生まれの自分の親は農家で仕事が一緒だったこともあってか、朝も布団の中でずっとしゃべっていたし、四六時中二人でいろいろ話していた。あの年代としてはとてもうまくコミュニケーションをとっていたのではないか」という話もでていた。また熟年男性は「妻は姉妹や友人と楽しくやっていてこっちを振り向こうとしない。現在セックスレス状態だ。こっちから修復しようというのもナンだし、自分も趣味の山歩き等で楽しくやろうと思っている。セックスがない中で、いかに楽しく二人が生きていくかが、これから課題だ」と語った。「自分は自分で楽しむ」といっているが、無理矢理自分を納得させているといった感じだった。また講師が「セックスするとき、無理強いしないことは基本」と話をしたとき、「妻にいちいちお伺いなんてたてずにやってきたナ」と思わず反省の弁をもらす年配者もいた。男性陣の、今のままではいけない、何とかできたらナという思いは感じられた。かといって年代的なこと也有つて、今さら切り替えるのはなかなか大変なことだろうと察するが……。

性のことは、こだわっていることや引っかかっていることがあるって、普段あまり人と話さないことが多いと思う（特に男性は）。今回のように率直に本音で語り合うことができたのはとてもよかったです。若いうちから男性もまわりとこういうことを真面目に話し合うことができたら（女性もそうだが特に男性）、ずっと男女の風通しはよくなるだろうと感じた。



沖縄のせたちと 熱く深く連帯しよう

谷 百合子

先月号に沖縄の事を書いたが、沖縄のことで頭をいいはじめになっている。沖縄の人々の意志の高さに反して、政府は何とかその場のまじめようという姿勢が顕著であり、よほど私たち…しっかり連帯を作つていなければ、地位抑定でお茶を濁して終わつてしまつたろう。沖縄の人々は日本に復帰すれば、未幸のあると言いつけて、その結果、日本のクルーソン基地を押しつけられたのである。もう、これ以上、沖縄の人たちを裏切る事はできない。街頭でも、署名を呼びかけて行くつもりである。

「軍隊は男の暴力である」「レンジャーで借りる金があるから女を買つた」と言った米軍長官の発言に、年少の日商會議員の猪俣会頭…「さうことで日本間に紛争を起すのはよくない」との発言に見られるように男たちの頭の中はほとんど変わっていないのではないかとうか。地球上に種々な差別がある。女性差別はあたり前の風景になってしまったから、すこやかされる権利や人間の尊厳など問題は

ならなくなっている。沖縄で売春防止法が通用されたのは、本土から16年が経て、1972年であった。女たちのドーレ獲得客員が、沖縄の經濟を開拓したこと、一般家庭の女たさを守るためにであった。これほど大変な歴史を生き抜いてきた沖縄の女たさである。私が出会った数少い沖縄の女たさはおじなへて控え目で男のうらにいるという感じであった。沖縄の女たちよ、もっともっと勢力を前に出して！と呼びかけたい。軍隊の女のか、男の暴力であり、その暴力を正当化し、持続させるために、女たさの身体や心からむしばまれてきたのである。

安保と女性差別は表裏一体の問題である

安保と今回のレイプ事件は別であると政府は言つてますが、本音は同じである。基地があるからレイプが起る。ほとんど男だけの、それを人を殺す事を目的として集つてゐる組織が異常でない筈がない。レイプ事件は沖縄での件数が高いとは言えない。しかし、届け出されなかつた無数の事件があり、どれ程沢山の女たさか、泣いてきたとか！どうも、安保の見直しなどと、今までの事を言うのではなく、世界に誇る憲法9条の精神を広め、非暴力で世界変革を目指すことに自信を持ちたいと思う。

手紙作戦をやります！ 署名：ひづる、河野外相、

クリントン、キム首相、そして大田県知事へ支援の葉書をあります。

官邸へか"手"印を下さればいいようにあります。
谷のところ：この枚あります。どんどん申し込んで"クリーク"を
生んで下さい。来年に下、沖縄の現地の人と連れて会合を開く
計画します。
(664-0632)をまづ



プライバシーって何？

木村

「うちの息子、女の子からラブレターもらってきてね、私に見せてくれたの。…このまま育ってくれて、中学や高校生になっても、ラブレターもらったとき、私に見せてくれると、助かるな。」「ホントねー。」そういう会話が耳に飛び込んできて、ぞつとしたことがある。親の立場ならそうなんだろうけど、自分がその子にラブレターをあげる立場の女の子だったら、そんな男の子、いやだな（…結局、現在の自分に一番近い立場の登場人物に、感情移入しやすいということなんだけど）。親としては、子の行動が管理しやすくていいか。

といえば、一人暮らし始めて「うれしい」と思ったことのひとつに、「自分宛ての手紙が郵便受けに入っているのを、自分が真っ先に見られる喜び」があったな。

何の会話のときだったか、「結婚が決まって家を出るとき、それまで書いてた日記やら何やら、全部燃やしたんだ。」と知人が言った。人に見られるのいやだから、置いて行くわけにも、持つて行くわけにもいかない、と。

思わず「私は、しないな。日記に、人に見られて困るようなこと書いてないから。だいたい、人に知られたくないようなことは、最初から日記に書かない。」と私は答えてしまった。

唐突に「血液型、何型？」と彼女。「B型。」「うそお、それって、B型の日記の書き方じゃないい。」

そう言われてみれば——私って、小学生の時から、日記は、親に見られてもかまわないよう書いていたんだな（…ちょっととんでもないことかも）。見られたら恥ずかしいとは思うし、あまり見られたくないこともいっぱい書いているんだけど、見られると困る、知られたくないことは書いてなかった（…親、信じてなかつたんだな、私って）。

「プライバシー」ってどういう意味？と、辞書を引いてみたら、広辞苑（第三版）には「プライバシー」について「私事が内密であること。私人の秘密。」となっていた。うーん、意味不明。で、さらに二冊引いた。

旺文社国語辞典改訂新版〔プライバシー<privacy 隠退・隠居所>他人に公開したくない私事。個人の自由を楽しむこと。私生活。——の侵害〕



参考：「プライバシーの権利」の略語としても、用いられる。〕…“他人に公開したくない私事”かあ。この方がわかる気がするかな。

コンサイス外来語辞典 [①私事、私生活。<昭>②私生活権。個人の私生活を守る権利。<現>] なるほど。昔は単に“私事”というのが主な意味だったわけだ。

“悪いことさえしてなければ、見られても平気なはずだ”っていうのはウソだよね。トイレで用をたしているところを見られるのは、悪いことしているはずはないのに、いやだもの。だから、寝室をのぞかれるのも、いやだし。

それは「恥ずかしい」からだ、とまずは思うけど、それって「身の安全」を守りたいということなのかな?と考えたの。人間(に限らないけど)、排泄や性行為、睡眠中なんかは、非常に無防備になるわけだから、得体の知れない(危険かもしれない)他者がいるのは、脅威を感じる。だから、なるべく他人を遠ざけたい。と、元々は、そんなようなことから来てるんじゃないかな、と思ったんだ。



あのね、「自分に関するモノや情報を自分で管理できること」って、大事だなって、何かのおりに思ったの。

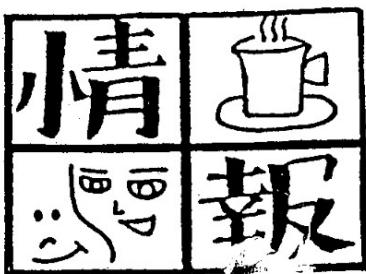
で、はたと、それって「プライバシー」ってことじゃないのって、ひらめいたの。だから「プライバシーの権利」って何だ、なんて、真面目に考えたわけじゃないんだけど、そう思いついてみたら、「他人に見られたり、知られたり、干渉されたりしない」っていうより、しっくりするような気がして、わくわくしちゃいました。

プライバシーって、他人に「知られるか、知られないか」が問題なんじゃない。
「公開するか、しないか」を「本人が決定できるか、否か」が問題なんだ。だから

う、自分が見せたいときは、見せる。そうしたくないときは、しなくともいい。公開しないことは、責められるべきことじゃない。したくないのは、悪いことをしてるからとは限らない。
…あー、でもこれはあくまで“私事”についてであって、“公事”は事情が違うね(そうそう「知る権利」っていうのは“公事”に対してのものであって、“私事(他人のプライバシー)”に向けられるべきものじゃない、と思う)。

それでね、「自分に関するモノや情報を自分で管理できること」って自己管理というか「自己決定権」に入るのかな、それが保証されているってことは、つまり「ひとりの人間として、大事に扱われている、存在価値を認められている」ということで、「人間としての自尊心」につながることだ、と思い至ったら、そうか、だから「プライバシーの権利」は「人権」に関する問題なんだってことを、納得したんでした。♡

とうとう マックで 原稿つくった
(でも、主な文字入力は MS-DOS 機)
今回は カットもパソコンで、というところ
までは できませんでしたわ。
ちまたは Windows 95 で 駄がいいです
けど、いの マック 可愛いから(気むづか
い奴だけどり)。
まゆみ。



性教育学習会

「中絶—北と南の女たち」ビデオ上映(約55分)と話し合い
女のからだは誰のもの? 女に自己決定権はないのか? 中絶を通して女性の性と生殖に対する健康と権利について考えてみよう!

- ・日時 12/2(土) PM 6:00~
- ・場所 女性センター(大通西19丁目)
- ・参加費 400円
- ・主催 性教協いしかりサークル(644-2927)

グラウンドゼロ! 広島長崎記録写真展

元米従軍カメラマンジョー・オダネル氏作品

- ・日時 12/1(金)~12/3(日) AM 9:00~PM 8:00 (最終日の26:00まで)
- ・場所 女性センター(大通西19)
- ・参加費 300円
- ・主催 グラウンドゼロ—記録写真展実行委(219-0112)

忘年会の御案内

- ・日時 12/6(土) PM 5:30~
- ・場所 細田宅(644-2927)
- ・参加費 一品持寄。ただし飲食代として200~300円程度
※準備の都合上、必ず12/3(水)までに坂本さんは出席の連絡を!(709-0354)

#あとがき # # # # # # # # # # #

苦手な原稿でまた四苦八苦。疲れて元気をなくしていた。
しかし名古屋集会議で久しぶりにTさんも混じえ、たくさんしゃべりをしたら少し元気回復! 元気が出でてくると来年のプランもわいてくる。「遊びの和み窓」(女子割れしにについてアリスウォーカーが書いている)の読書会を今度してみたい!
(エリコ)

#

